

■高田開府400年祭実行委員会について

上越市では、1614(慶長19)年、徳川家康の六男・松平忠輝公による高田開府から400年という記念すべき年となる2014年を迎えるにあたり、平成24年12月23日に高田開府400年祭実行委員会を設立しました。

実行委員会では、400年間培われてきた歴史や文化を継承し、地域の誇りとして一丸となって“輝きを放つ未来の上越市”に向けたまちづくりを進めるとともに、2014年を「新たなまちづくりのスタートの年」と捉え、市民一人ひとりが“まち”の成り立ちや文化を再認識し、“越後の都”であった地域への自信と誇り、愛着を持てる取組みを展開することで、上越市内外への情報発信と観光誘客の促進を図るため、「高田開府400年祭」をはじめとする様々な記念事業を行うこととしました。

事業の実施期間・事業構成について

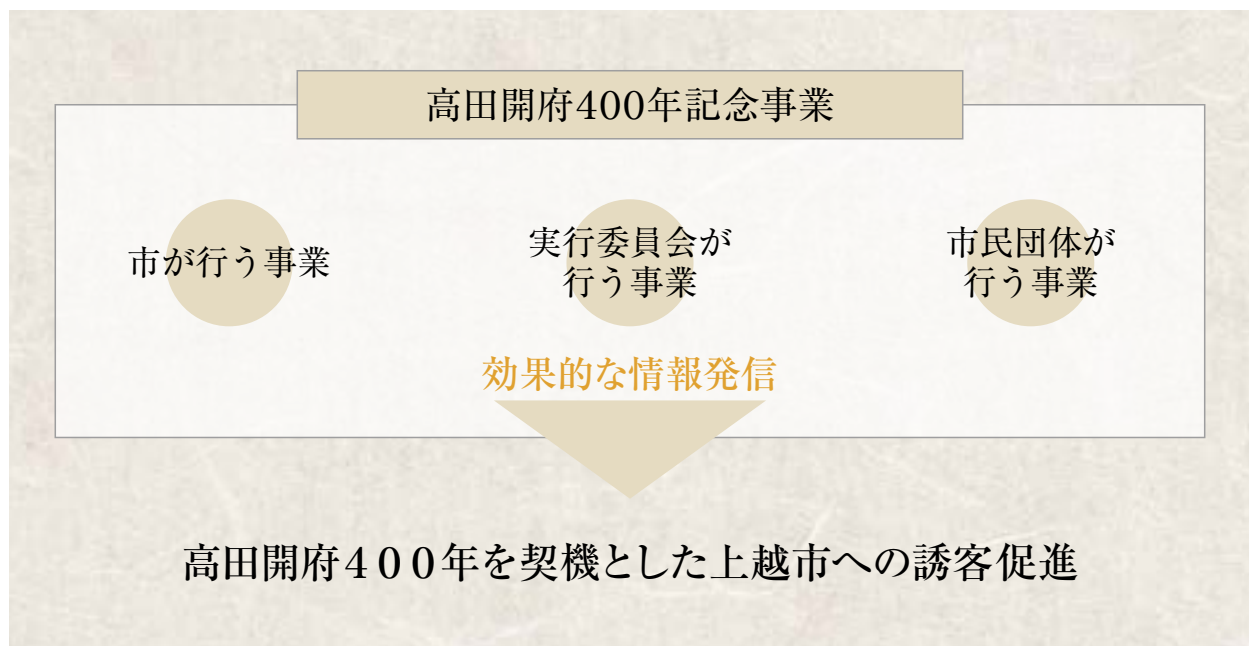
高田開府400年祭実行委員会では、高田開府400年を歴史的な一大事業として捉え、高田開府400年記念事業の実施期間を平成25年度から平成27年度までの3年間とし、1年目(平成25年度)を機運醸成の年、2年目(平成26年度)を本祭の年、3年目(平成27年度)を未来へ繋げるまとめの年と位置付けました。

また、実施事業については、「市が行う事業」、「実行委員会が行う事業」、「市民団体が行う事業」を「高田開府400年記念事業」と位置付け、一体的かつ効果的な情報発信を行うことより高田開府400年を契機とした上越市への誘客促進を図っていくこととしました。

■事業実施期間

平成25年度から平成27年度

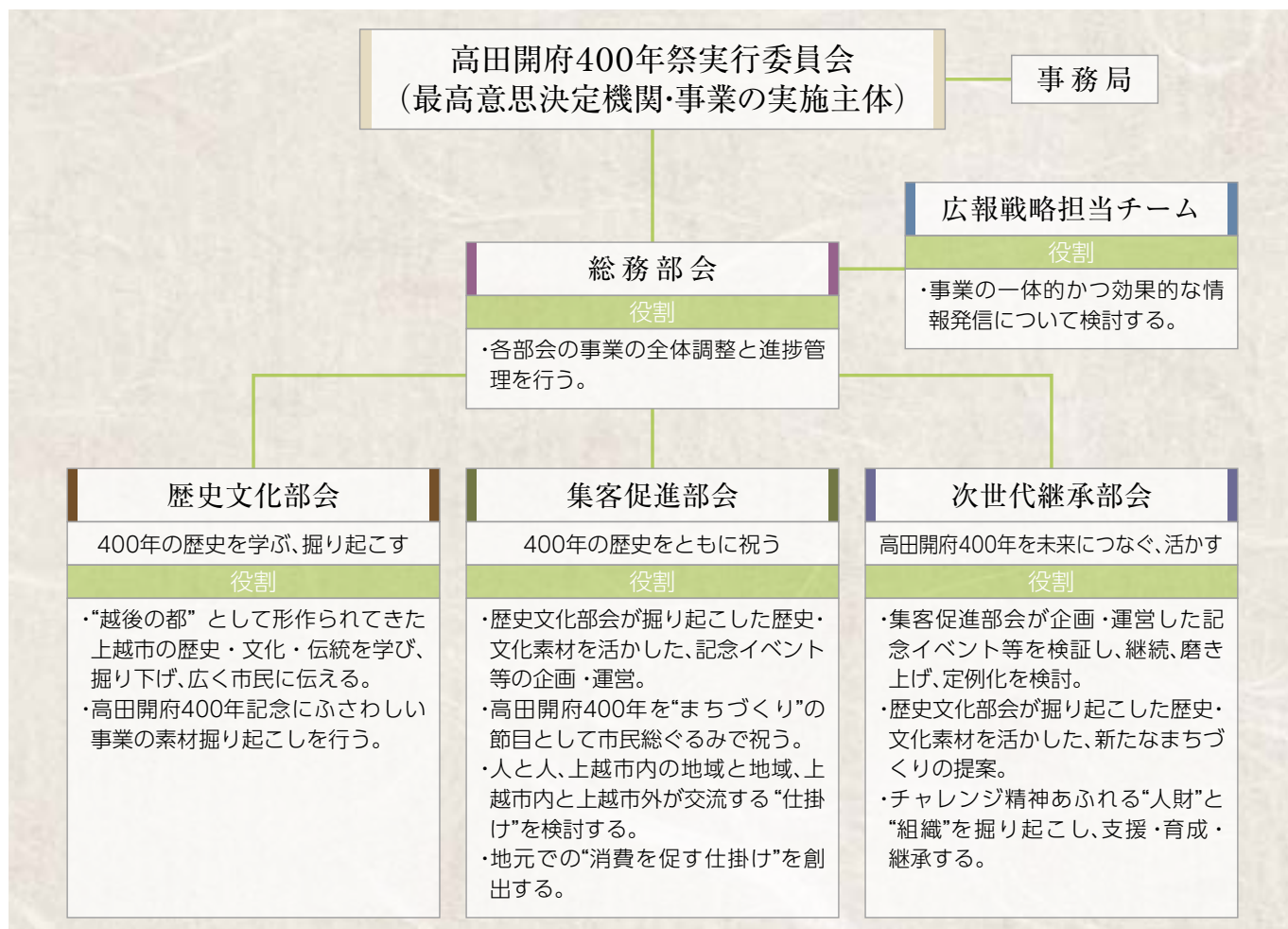
■事業構成



実行委員会事業の推進体制について

最高意思決定機関である「高田開府400年祭実行委員会」に、事業の企画立案及び実働部隊として「歴史文化部会」、「集客促進部会」、「次世代継承部会」の専門部会を設置し、事業の推進を図っていくこととしました。

また、各専門部会の事業の全体調整及び事業の進捗管理を行うため、「総務部会」を設置するとともに、事業の一体的かつ効果的な情報発信の方法を検討するための組織として「広報戦略担当チーム」を設置しました。



シンボルイメージ

高田開府400年のシンボルイメージを構築し、事業の統一的な展開とPRを図るため、ロゴマーク及びイメージポスターを制作しました。ロゴマーク及びイメージポスターは、上越市出身の日本画家で上越市シティ・イメージ・アドバイザーであった柴田長俊氏(実行委員会アドバイザー)から制作いただきました。

高田開府400年

(ロゴマーク)



(イメージポスター)